

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	図書資料等収集整備事業	所管	教育委員会教育総務部 所沢図書館
			Tel 2995-6311

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の調査研究、教養、レクリエーション等に資する図書館資料、情報の収集を行い、利用者に提供する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市内に居住又は通勤・通学する者、及びダイヤプラン3市(飯能市、狭山市、入間市)に居住する者	対象とした数	732,928	人
		実際に 利用した数	514,870	人

活動の内容	(何を したか)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料収集 「所沢市立図書館資料収集方針」に基づき蔵書構成を考慮し、資料を選択収集する。 ・資料保存 残すべき資料を選び、次の世代・時代に受け継いでいく。 ・資料管理 電算システムにより、資料データ管理を行なう。 ・資料整理 資料に書誌(分類・書名・著者・金額等)データ付与、フィルムコーティング等の装備 ・資料除籍 除籍資料は幼稚園、小中学校または市民にリサイクルする。ボランティアの協力で実施 								
		活動実績	項目名	蔵書数(AV含む)	850382	項目名	図書購入数(AV含む)	19281	項目名	除籍数(AV含む)
			単位	点		単位	点		単位	点

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	59,366	59,254	125,764	370.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	資料回転率	総貸出数÷蔵書数	2	1.8	90.0
			単位	単位	単位
			回	回	%

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	現状どおり * 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当部課	部課コード	120800	TEL	2995-6311
120805	図書資料等収集整備事業	教育委員会教育総務部	所沢図書館	グループ	児童・資料	
開始年度	昭和 39 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	図書館法、所沢市立図書館設置条例、同施行規則							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	2 社会教育機関の充実	小柱	(4) 図書館サービスの向上
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		・実施計画における位置づけ…		H19	○	H20	○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	1312	窓口体制の整備及び拡大	コード	1311	ユニバーサルデザインの推進	コード	1321	窓口満足度の向上
	事業開始の背景	昭和23年、所沢青年団により所沢図書館が創立され、所沢市から補助を受け運営された。昭和39年、有志による図書館運営が市に移管され、図書館法の理念に基づき所沢市立所沢図書館を設置、所沢図書館設置条例により資料収集整備が確立された。『所沢市立図書館資料収集方針』に基づき資料収集を行っている。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的)	市民の調査研究、教養、レクリエーション等に資する図書館資料、情報の収集を行い、利用者に提供する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市内に居住又は通勤・通学する者、及びダイヤプラン3市(飯能市、狭山市、人間市)に居住する者	利用数の考え方	所沢図書館全館の貸出利用者数						
	対象数	単位	平成 18 年度	731,658	人	利用数	単位	平成 18 年度	538,126	人
			平成 19 年度	732,928	人			平成 19 年度	514,870	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集 「所沢市立図書館資料収集方針」に基づき蔵書構成を考慮し、資料を選択収集する。 資料保存 残すべき資料を選び、次の世代・時代に受け継いでいく。 資料管理 電算システムにより、資料データ管理を行なう。 資料整理 資料に書誌(分類・書名・著者・金額等)データ付与、フィルムコーティング等の装備 資料除籍 除籍資料は幼稚園、小中学校または市民にリサイクルする。ボランティアの協力で実施 								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事に伴う4ヶ月間の休館中に本館書庫の蔵書量の適正化を図った。 新館準備のために図書を確認し保管した。 破損本の修理を促進した。 		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		64,045	59,366	49,896
	決 算 (見込み含む)		63,557	59,254	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.80 人)	(人)	(0.80 人)	(人)
	正規職員人件費	6.01 人	55,292	7.08 人	66,510
	公債費				
	事業費合計		118,849	125,764	
	財源内訳	一般財源	118,849	125,764	49,896
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		351.7	370.9	
	利用者一単位あたり(単位:円)		220.9	244.3	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	蔵書数(AV含む)	蔵書数	点	830050	850382	850000	
		図書購入数(AV含む)	年度の購入数	点	28717	19281	19760	
		除籍数(AV含む)	年度の除籍数	点	22285	22684	20000	
成果分析	資料回転率	総貸出数÷蔵書数	目標値	2	2	2		
			実績	1.8	1.8		実績値の拡大を図る1	
			達成率	90.0	90.0		実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・書庫の収容能力が限界に達している。・資料収集方針について周知方法の工夫。 ・リクエストが増大していることにより、予約本の購入の割合が増えている。・組織的としての選書能力の向上。 				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	図書館のリサイクルを効率的に行なう。	リサイクル本を効率的に市民に提供するための仕組みを作る。	平成20年度中	
		新館建設を踏まえた計画的な資料整備を行なう。	資料購入計画を作成する。		
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	多様化・複雑化する現代社会で資料情報提供に対する市民要求は今後も拡大していくことが予想される。そのために図書館は質の高い資料情報資源を今後も継続して計画的に整備していく必要がある。予算については元町北地区に平成22年度に整備される図書館に伴い増額の必要がある。			
	評価日	平成20年5月20日	記入者職氏名	図書館長 斎藤雅裕	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
二次評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	評価日	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				

⑩環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無し	計画コード	
⑪世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…	無し	計画コード	
⑫基本目標				
⑬主要課題				
⑭施策の方向				